

## 第2 各総室の事業概要（令和5年度実績）

### 1 保健総室【五所川原保健所】

#### 1-1 指導予防課関係業務

##### 1-1-1 衛生教育

日常の暮らしの中での健康増進や生活衛生、子育て問題等について、各種研修会の場などを利用して、地域住民に広く保健衛生思想の普及向上を図るための衛生教育を実施した。令和5年度は3回実施し、延べ参加人員は77人である。

（単位：回、人）

教育内容	実施回数	延べ参加人数
感染症 (結核・エイズを除く)		
結核		
精神		
難病		
母子		
成人・老人		
栄養・健康増進		
医事・薬事	3	77
食品		
環境		
その他		
合計	3	77

## 1-1-2 医療及び薬事関係

### (1) 医療施設等の状況

病院の施設数・病床数は令和4年度末から増減はなかった。診療所の施設数は令和4年度末から2施設減少し、診療所病床数は4床減少した。

(令和6年3月31日現在)(単位：施設(箇所)、病床数(床))

区分	総数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
病院	8	6	1	1			
病床数	980	877	43	60			
一般	560	500		60			
精神	164	164					
結核							
感染症	4	4					
療養	252	209	43				
診療所無床	72	40	10	4	5	5	8
診療所有床	3	2	0	1			
病床数	56	37	0	19			
一般	56	37	0	19			
療養							
歯科診療所	39	21	9	2	2	3	2
助産所	1			1			
施術所	84	44	18	6	7	5	4
歯科技工所	11	7	2	1		1	
衛生検査所							
介護老人保健施設	6	2	1	1	1	1	

## (2) 医薬品販売業者等数

令和5年度末現在、調剤業務を行う薬局や一般用医薬品を販売する店舗販売業の増減はなかった。

また、コンタクトレンズや血糖測定器等の高度管理医療機器等を取り扱う営業所は2施設増加し、補聴器等の管理医療機器を取り扱う営業所は6施設増加した。

(令和6年3月31日現在)

区 分	総 数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
薬 局	55	38	7	3	1	3	3
卸 売 販 売 業	8	6	1	1			
店 舗 販 売 業	49	23	12	4	2	3	5
配 置 販 売 業	5	3	2				
配 置 従 事 者	18	10	7			1	
特 例 販 売 業							
一 般							
医 療 機 器 修 理 業	1	1					
高度管理医療機器等	57	41	9	3	1	2	1
販 売 業	42	28	7	4	1	1	1
貸 与 業							
販 売 業 ・ 貸 与 業	15	12	2			1	
管 理 医 療 機 器	240	119	61	18	13	13	16
販 売 業	217	104	55	17	13	13	15
貸 与 業							
販 売 業 ・ 貸 与 業	23	15	6	1			1
毒 物 劇 物 販 売 業	73	32	19	5	3	3	11
一 般	25	20	4			0	1
農 業 用 品 目	45	10	15	4	3	3	10
特 定 品 目	3	2		1			
麻 薬 卸 売 業	1	1					
麻 薬 小 売 業	49	33	7	3	1	3	2
医 薬 品 製 造 業	0	0					
医 薬 品 製 造 販 売 業							
医 療 機 器 製 造 業	1	1					
薬 局 医 薬 品 製 造 業	1	1					
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業	1	1					

(3) 医療監視の状況

病院及び診療所等が、医療法その他の法令に規定された適正な管理運営がされているかどうか検査することにより、地域住民に適切な医療等が提供されることを目的に実施している。

(単位：実施数(件)、実施率(%))

年 度 区分	R5		R4		R3	
	対象施設	実施数 実施率	対象施設	実施数 実施率	対象施設	実施数 実施率
病 院	8	8 100.0	8	8 100	8	8 100
一般診療所	75	23 30.7	77	36 46.8	77	14 18.2
歯科診療所	39	16 41.0	43	1 2.4	43	
助 産 所	1		1		1	
施 術 所	84	15 17.9	88	7 7.8	88	4 4.5
歯科技工所	11		11		14	

#### (4) 薬事監視の状況

薬局及び医薬品販売業者等が、関係法令を遵守し、医薬品等の適正な管理がされているかどうか監視・指導を行い、消費者が安心して医薬品を購入できる体制の確保に努めている。また、麻薬取扱施設に対しては、麻薬及び向精神薬取締法に基づく適正使用や保管管理について監視・指導している。

(単位：実施数(件)、実施率(%))

年 度 区分	R5		R4		R3	
	対象施設	実施数	対象施設	対象施設	対象施設	実施数
		実施率		実施率		実施率
薬 局	55	36	55	32	54	33
		65.5		58.2		61.1
卸 売 販 売 業	8	9	8	2	9	5
		112.5		25.0		55.6
店 舗 販 売 業	49	18	49	13	46	33
		36.7		28.3		71.7
配 置 販 売 業	5		5		5	
特 例 販 売 業						
医 療 機 器 修 理 業	1	1	1		1	
		100				
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業	42	26	40	26	39	25
		61.9		65.0		64.1
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業 ・ 貸 与 業	15	13	15	5	15	5
		86.7		33.3		33.3
管 理 医 療 機 器 販 売 業	217	19	213	12	211	2
		8.76		5.63		0.9
管 理 医 療 機 器 販 売 業 貸 与 業	23		21	1	23	10
				4.76		43.4
医 薬 品 製 造 業	0		0		1	
医 薬 品 製 造 販 売 業	0		0		1	
医 療 機 器 製 造 業	1		1		1	
薬 局 医 薬 品 製 造 業	1		1		1	
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業	1		1		1	
毒 物 劇 物 販 売 業	73	31	75	24	77	21
		42.5		32.0		27.2
麻 薬 取 扱 施 設	91	62	93	46	90	35
		68.1		49.5		38.9

(5) 不正大麻・けしの抜去状況

毎年6月から9月まで実施される「不正大麻・けし撲滅運動」の期間中に実施し、管内市町を巡回の上、発見した際は除去している。

(単位：箇所／本)

区分		年度	R5	R4	R3
大麻	管内				
	県		96/947,518	70/47,417	85/48,239
けし	管内		10/270	17/765	51/2,470
	県		42/3,095	48/2,895	114/10,442

(6) 薬物乱用防止に関する研修会

薬物乱用の防止を図るため地域に密着した啓発活動等が行われることを目的として、研修会を実施している。

年月日	実施場所	対象及び人数
令和5年7月5日	五所川原市民学習情報センター	会員(27名)
令和5年7月12日	五所川原第一中学校	中学生(189名)
令和5年9月7日	県立森田養護学校	学生等(42名)
令和5年10月31日	深浦町立大戸瀬中学校	中学生等(21名)
令和5年11月28日	鱒ヶ沢町立西海小学校	小学生等(25名)

(7) 移動採血車及び出張採血による献血状況

「県内の医療機関で必要な血液はすべて県民の善意の献血で確保する」を基本理念に、地域住民の理解を求め、血液センターの移動採血車等が職域等に出向き、献血者の協力を得て確保に努めている。

・ 令和5年度献血実績(献血バス分) (令和6年3月31日現在)

区分	全血献血				
	200m l (人)	400m l (人)	目標量 (L)	確保量 (L)	達成率 (%)
市町村					
五所川原市	27	707	365.4	288.2	78.9
つがる市	17	837	348.0	338.2	97.2
鱒ヶ沢町		95	38.0	52.2	72.8
深浦町		64	34.8	25.6	73.6
中泊町		101	52.2	40.4	77.4
鶴田町		197	87.0	78.8	90.6
管内(計)	44	2001	925.4	823.4	90.0
青森県	837	24537	9570.0	9982.2	104.3

※成分献血については、平成21年度より献血バスが廃止。

(8) 西北五地域災害医療対策協議会

災害時において関係機関が連携して地域医療を確保するため、二次保健医療圏ごとに地域災害医療対策協議会を設置し、災害時の連携体制構築に向けた協議を行うとともに、日頃から顔の見える関係を築くことを目的としている。

令和5年度は、令和6年2月20日に書面開催した。

1-1-3 感染症予防関係

(1) エイズ予防関係

保健所に相談窓口を開設し、エイズ及び性感染症のまん延防止を図るため、無料・匿名での血液検査を月1回実施している。なお、平成24年7月から夜間即日検査を導入した。

(単位：件)

区分 年度	血液検査		相 談					
	採血件数		相談件数		内 訳			
	男	女	男	女	電 話		来 所	
					男	女	男	女
R5	26	13	6	0	6	0		
R4	16	4	3	2	3	2		
R3	20	3	6	1	6	1		

(2) 肝炎ウイルス相談・検査事業

保健所に相談窓口を開設し、C型肝炎ウイルス及びB型肝炎ウイルス感染者の早期発見、早期治療を図り肝硬変や肝がん等への進行を予防することを目的に相談や血液無料検査を実施している。

(単位：件)

区分 年度	血液検査		相 談		
	採血件数		相談件数	内 訳	
	男	女		電 話	来 所
R5			2	2	
R4					
R3					

(3) 肝炎治療特別推進事業

C型ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ治療に要する医療費の一部を助成する事業であり、保健所が申請受理を行っている。

(単位：件)

区分 年度	インターフェロン フリー治療	インターフェロン治療		核酸アナログ製剤 治療（更新含）
		C型	B型	
R5	12			78
R4	9			76
R3	17			76

(4) 感染症発生状況

令和5年は二類～五類感染症(全数把握)の発生が計12件あった。感染症発生時は、感染源や感染経路の調査感染予防のための実地指導を行った。また、感染性胃腸炎等が集団発生した際には、まん延防止に係る指導等を行った。

(単位：件)

区分 年度	一類感染症	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症 (全数把握)
R5		8 (結核 6 LTBI 2)	1 (腸管出血性大 腸菌感染症 1)	3 (レジオネラ症 2 つつが虫病 1)	
R4		13 (結核 7 LTBI 6)		4 (レジオネラ症 3 つつが虫病 1)	1 (カルバペネ ム耐性腸内細 菌科細菌感染 症 1)
R3		17 (結核 14 LTBI 3)	3 (腸管出血性大 腸菌感染症 3)	2 (つつが虫病 2)	1 (クロイツフェ ルト・ヤコブ 病 1)

【集団発生状況】

(単位：施設)

区分 年度	五類感染症（定点報告疾患）		
	感染性胃腸炎	インフルエンザ	その他
R5	7	12	新型コロナウイルス感染症 34
R4	1		RSウイルス感染症 1
R3	1		RSウイルス感染症 1

## 1-1-4 結核予防関係

### (1) 結核患者登録状況(市町別・活動性分類、年齢別)

令和5年中の管内の新登録患者は8人で前年より5人減少し、令和5年末の全登録患者総数は28人で前年末より5人減少した。新登録患者は、全て高齢者であった。

結核の早期発見、早期治療のため、接触者健康診断及び管理検診を推進するとともに、結核に関する知識の普及啓発等を積極的に行っている。結核の早期発見、早期治療のため、接触者健康診断及び管理検診を推進するとともに、結核に関する知識の普及啓発等を積極的に行っている。

#### (1)-1-1 新登録患者数 市町別・活動性分類

(令和5年1月1日～令和5年12月31日) (単位：人)

区分	活動性結核								潜在性結核感染症(別掲)	
	総数	性別		肺結核			肺外結核活動性			
		男	女	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性その他		
市町名				初回治療	再治療					
五所川原市	4	2	2	1	1			2	2	
つがる市	1		1	1						
鱒ヶ沢町	1		1			1				
深浦町										
鶴田町	1	1		1						
中泊町	1	1		1						
年	R5	8	4	4	4	1	1		2	2
	R4	13	10	3	6	1		4	2	6
	R3	12	6	6	2	1	2	2	5	8

#### (1)-1-2 新登録患者数 年齢別 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) (単位：人)

年齢階級	新登録患者数											潜在性結核感染症(別掲)	
	合計	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～		
市町名													
五所川原市	4(2)								2(1)	1	1(1)	2	
つがる市	1(1)										1(1)		
鱒ヶ沢町	1									1			
深浦町													
鶴田町	1(1)										1(1)		
中泊町	1(1)							1(1)					
年	R5	8(5)						1(1)	2(1)	2	3(3)	2	6
	R4	13(6)				1(1)	1(1)	1(1)	4(1)	5(2)	1	6	13(6)
	R3	12(3)		1			1(1)	2	2	6(2)		8	

65歳以上は8人(100%)であった。( )内は喀痰塗抹陽性を再掲。

## (1) - 2 - 1 全登録患者数 市町別・活動性分類

(令和5年12月31日現在) (単位:人)

区分 市町名	総数	性別		活動性結核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症 (別掲)		
				肺結核活動性			肺外結核活動性						
		男	女	登録時喀痰塗沫陽性		登録時その他の菌陽性		登録時菌陰性その他					
				初回治療	再治療		治療中		観察中				
五所川原市	6	4	2		1			1	3	1	1	2	
つがる市	4	3	1						2	2		3	
鱒ヶ沢町	2	1	1			1				1			
深浦町	1	1							1			2	
鶴田町	2	1	1	1					1			1	
中泊町	3	2	1						2	1		1	
年	R5	18	12	6	1	1	1		1	9	5	1	9
	R4	33	23	10	5	1		1	1	10	15	7	17
	R3	24	15	9	2		1		2	15	4	3	16

## (1) - 2 - 2 全登録患者数 年齢別

(令和5年12月31日現在) (単位:人)

年齢階級 市町名	合計	0 ~ 9	10 ~ 19	20 ~ 29	30 ~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80~ 89	90~	潜在性結核感染症 (別掲)	
												治療中	観察中
五所川原市	6(1)						1	1	3(1)	1		1	2
つがる市	4						1			2	1		3
鱒ヶ沢町	2									2			
深浦町	1								1				2
鶴田町	2(1)									1	1(1)		1
中泊町	3							1	1	1			1
年	R5	18(2)					2	2	5	7	2	1	9
	R4	33(5)			1		3(1)	5(1)	10(1)	14(2)		7	17
	R3	24(11)			1		1	4(1)	7(5)	10(4)	1(1)	3	23

65歳以上は15人(83.3%)であった。

( )内は、登録時喀痰陽性を再掲。

## (2) 結核患者罹患率及び有病率

(令和5年12月31日現在)

区分		人口	新登録患者数 (人口10万対)	罹患率	活動性登録患者数 (人口10万対)	有病率
市町名						
	五所川原市	48,995	4	8.2	2	4.1
	つがる市	29,073	1	3.4	0	0.0
	鱒ヶ沢町	8,339	1	12.0	1	12.0
	深浦町	6,603	0	0.0	0	0.0
	鶴田町	11,317	1	8.8	1	8.8
	中泊町	8,820	1	11.3	0	0.0
管内 合計	R5	113,147	8	7.1	4	3.5
	R4	115,759	13	11.2	8	6.9
	R3	117,229	12	10.2	5	4.3
R2	青森県	1,184,558	90	7.6	50	4.2
R2	全国	124,947,000	10,235	8.2	6,782	5.4

(人口：令和5年10月1日推定)

## (3) 結核診査協議会の診査状況

(単位：件)

年度	感染症法	申請	決定・承認	その他	その他の内訳
R5	第37条	14	14		
	第37条の2	11	11		
R4	第37条	16	16		
	第37条の2	33	33		
R3	第37条	47	47		
	第37条の2	26	26		

注 第37条…入院勧告を受けた患者、第37条の2…入院勧告以外の患者

## (4) 接触者健康診断及び管理検診実施数

(単位：件)

		接触者健診				管理検診				
		合計	保健所 実施	委託医 療機関	他の受診 を確認で きたもの	合計	保健所 実施	定期病 状調査	委託医 療機関	他の受診 を確認で きたもの
年 度	R5	40	38	2		47	41			6
	R4	59	54	5		38	33		2	3
	R3	32	27	5		24	19		5	
ツ反										
IGRA		30	29	1						
胸部エックス線		10	9	1		47	41			6
被 発 見	結核患者									
	潜在性結核感染症									

## (5) 訪問指導状況等

訪問指導等により、新登録患者や登録患者への療養指導、接触者への感染予防、発病予防の指導、正しい知識の提供、不安の軽減等を行っている。

令和5年度は、訪問：7件（延べ19件）、相談：電話延べ2件、来所延べ0件、関係機関（者）訪問延べ0件であった。

## (6) 結核対策特別促進事業実施状況

## ア 特別対策促進事業

## (ア) 院内DOTS

患者及び家族に対して結核の正しい知識を提供し、早期から不安の軽減と治療への動機づけを図った。（対象4件）

## (イ) 地域DOTS

服薬中断リスクやニーズに応じた服薬支援を、患者及びその家族、関係機関と連携しながら実施した。訪問5件（延べ11件）、薬局DOTS含むメールや電話は延べ10件、来所は延べ2件であった。

## (7) 市町長が行う結核定期健康診断及びBCG接種状況

(単位：人)

区分 市町名		胸部エックス線検査			精密検査			被発見		BCG			
		対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)%	対象者 (C)	受診者 (D)	受診率 (D/C)%	菌 検 査	結核 発病 恐れ あり	対象者 (E)	受診者 (F)	受診率 (F/E)%	
五所川原市		18,973	3,620	19.1	86	59	68.6		0	0	196	84	42.9
つがる市		11,951	4,076	34.1	2	2	100.0		0	0	175	85	48.6
鱒ヶ沢町		4,078	750	18.4	0	0			0	0	32	11	34.4
深浦町		3,668	930	25.4	15	14	93.3		0	0	17	15	88.2
鶴田町		4,638	1,738	37.5	0	0			0	0	41	31	75.6
中泊町		4,789	1,301	27.2	41	15	36.6		0	0	28	25	89.3
年度	R5	48,097	12,415	25.8	144	90	62.5		0	0	489	521	51.3
	R4	48,081	11,880	24.7	194	166	85.6		0	0	437	433	99.1
	R3	48,615	11,693	24.1	153	142	87.2		0	0	487	440	90.3

注1 B欄には間接撮影を省略し直接撮影のみ実施した者を含む。

## (8) 事業所の長等が行う結核定期健康診断

(単位：人)

区分 事業所等		胸部エックス線検査			精密検査			指導区分		
		対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)%	対象者 (C)	受診者 (D)	受診率 (D/C)%	菌検査	要 医療	要 観察
事業者		5,534	5,318	96.1	55	33	60.0			
学校 長	733	732	99.9	4	4	100.0				
	139	139	100.0							
施設長		1,434	1,375	95.9	100	98	98.0			
年度	R5	7,840	7,564	96.4	159	135	84.9			
	R4	8,307	7,500	90.3	142	111	78.2			
	R3	8,163	7,876	96.5	141	124	87.9			

注1 B欄には間接撮影を省略して直接撮影のみ実施した者を含む。

### 1-1-5 健康危機管理関係

健康危機発生に備えた平常時からの準備として、当保健所職員を対象とした職場研修を企画し、PPE（個人防護具）の着脱訓練を行った。

健康危機管理に係る会議・研修会等

開催年月日	場 所	内 容
令和5年12月5日	五所川原保健所	感染予防策の基本 PPE着脱訓練 受講者：保健所職員

### 1-1-6 新型インフルエンザ関係

令和5年度は、抗インフルエンザウイルス薬の保管状況（8,000 カプセルを外部保管委託）の確認を実施した。西北地域新型インフルエンザ等対策協議会は開催しなかった。

### 1-1-7 新型コロナウイルス感染症関係

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症の定点把握疾患となったことに伴い、施設内感染管理の技術的助言指導を行う「青森県感染対策コンサルテーションチーム」が設置され、令和5年度は管内2施設に対し衛生指導を実施した。

### 1-1-8 西北五地域保健医療推進協議会

西北五地域における保健医療の推進のため、関係機関同士の「顔の見える関係」を構築するための情報交換の機会をつくり、それぞれの果たすべき役割等について明確化と意識共有を図ることを目的としている。

開催年月日・場所	参加人数	内 容
令和6年2月8日（木） 14:00～15:30 プラザマリユウ五所川原	31人	①報告 第8次青森県保健医療計画の概要（案）について ②協議事項 健康あおもり21（第2次）西北五地域計画の最終評価について ③その他 医療対策部会の再編について

## 1-1-9 人材育成・市町支援関係

### 地域保健関係者研修

地域住民が健康に対する意識を高め、地域で安心して生活できるよう、地域保健関係者が健康な地域づくりをめざして、専門的知識や技術を習得し、生活者重視の保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質向上と関係者間の連携強化を目的に、研修会を実施している。

回	開催年月日・場所	参加者	内 容
1	令和5年8月10日 五所川原市民学習情報センター 大教室	21人	〈第1回新任保健師研修〉 ①プライマリーヘルスケアにおける地域看護診断の過程と実践に向けて 公立大学法人青森県立保健大学看護学科教授 古川照美氏 ②親子プロジェクト ～中学生生活習慣病健診から見えたこと～ 鱒ヶ沢町ほけん福祉課 主任保健師 新保尚子氏
2	令和5年8月21日 五所川原市民学習情報センター 大教室	20人	〈第1回保健師業務連絡会議〉 ※難病対策地域協議会と併催 ①市町村、保健所の災害時の役割について 県健康福祉政策課 主査 藤巻嵩 ②五所川原保健所の難病患者支援について ～平時から災害時まで～ 五所川原保健所 主査 江良育子 ③令和4年8月豪雨災害時の町保健師の対応について 鱒ヶ沢町ほけん福祉課 健康推進班 班長 井上信子 氏
3	令和5年11月29日 五所川原市民学習情報センター 大教室	15人	〈第2回新任保健師研修〉 事例検討 公立大学法人青森県立保健大学看護学科教授 古川照美氏
4	令和5年12月4日 プラザマリユウ五所川原 シャーロット	18人	〈第2回保健師業務連絡会議及び地域・職域連携推進協議会〉 ※自殺対策ネットワーク連絡会と併催 労働者のメンタルヘルス 公立大学法人青森県立保健大学看護学科教授 反町吉秀氏 五所川原労働基準監督署 署長 池上寛 氏
5	令和6年1月15日 五所川原合同庁舎 C会議室	9人	〈第3回保健師業務連絡会議〉 災害時保健活動の推進に向けて 五所川原保健所 総括主幹 吉田智子
6	令和6年2月15日 五所川原市民学習情報センター 大教室	24人	〈第3回新任保健師研修〉 地域診断 公立大学法人青森県立保健大学看護学科教授 古川照美氏

## 1-1-10 職場研修の実施状況

保健総室職員の資質向上を目的として実施している。

年月日・場所	テーマ・講師	受講者
①令和5年7月14日 ②令和5年8月9日 ③令和5年10月16日、31日 ④令和5年10月24日 ⑤令和5年11月16日 ⑥令和5年12月5日 ⑦令和5年12月8日、13日 ⑧令和6年1月19日 ⑨令和6年2月20～28日  保健総室会議室 他	災害発生時保健所対応研修 ①災害時の県の体制等、DMATの活動について ②W-MAILの報告訓練 ③災害物品の使用方法について ④W-MAILの報告訓練 ⑤鳥インフルエンザ発生時の健康調査について ⑥防護服着脱訓練（※e-ラーニング） ⑦EMIS操作 ⑧W-MAILの報告訓練 ⑨災害発生時の情報収集・処理について  講師 災害所内研修チーム 他	保健所職員